

# 現代人は母国語よりも外国語の学習により多くの時間を投資する

名前: 秋葉凌羽 学生番号: 24B40036  
東京工業大学生命理工学院

## 1. はじめに

「現代の大学生は母国語よりも外国語の学習により多くの時間を投資する」を調べる。本研究の結果は、言語教育や文化政策における重要な示唆を提供するとともに、言語学習の動向に関する理解を深めることを期待する。

## 2. 方法

**アンケート調査:** 大学生を対象に、言語学習に関する意識と行動を探るためのアンケートを実施した。

現代の大学生が母国語と国際外国語の学習にどのように取り組んでいるか、その背景にある動機や感情を深く理解することを目標とする。

## 3. 結果

表1: アンケート結果

	はい	いいえ
母国語よりも国際外国語の学習により多くの時間をかけている	9	1
母国語より外国語の方が好き	8	2
国際外国語が母国語であればよかった	3	7

### 言語学習時間の配分

多くの大学生が母国語よりも外国語の学習に多くの時間を割いていることが明らかになった。

### 言語への好意度

回答者の大部分が外国語よりも母語の方が好きと答えた。

### アイデンティティへの影響

「外国語が母国語であればよかった」と感じる割合は多く、その理由としては国際的な機会の拡大や、グローバルなキャリアへの憧れが関連していることが確認された。

## 4. 考察

### 外国語学習への傾倒

大学生が母国語よりも外国語学習に多くの時間を割く傾向は、グローバル化の進展と密接に関連している。これは、国際的なコミュニケーション能力や斜陽の日本経済への憂いなど現代の若者のニーズを反映していると言える。

### 言語とアイデンティティ

外国語に対する高い好意度と、母国語への強いアイデンティティ感の両方を持つ学生の存在は、多文化主義とグローバル化の影響下で育った世代の特徴を示している。一方で、「国際外国語が母国語であればよかった」という意見が出ていることは国際化の中で民族や国などの境界が曖昧になる未来にもっと強くなる傾向だと想像される。

### 言語教育への示唆

これらの結果は、言語教育政策において、外国語教育と母国語教育のバランスを考慮する必要性を示している。また、言語学習に対する多様なニーズや言語ナショナリズムの重要性を考えるアプローチが求められる。

## 5. おわりに

本研究は、現代の大学生が母国語と国際外国語の学習にどのように取り組んでいるかに焦点を当て、その傾向と背景を探求した。アンケート結果からは、多くの大学生が国際外国語の学習に重きを置いており、これはグローバル化の進展と密接に関連していることが理解された。また、言語とアイデンティティの関係に関する洞察も得られた。

### 文献:

Terry A. Osborn (2023)

“Revisiting ‘foreignness’: Nationalism and language education”